

認知症ライフパートナー 検定試験

試験会場：札幌・仙台・東京・名古屋
大阪・岡山・福岡・熊本

認知症ライフパートナーとは、
認知症の人のこれまでの人生や生き方、
価値観を尊重し、その人らしく日常生活が送れるように、
認知症の基礎知識とコミュニケーション能力をもち、
本人や家族に寄り添って、
サポートできる人のことです。



2023年度
夏期試験日

3級 2級

受付締切6/12(月)
7/16(日)

2023年度
冬期試験日

3級 2級 1級

受付締切11/16(月)
12/10(日)

受験料：3級 6,500円 / 2級 10,500円 / 1級 15,000円

受験資格：[2・3級] 学歴・年齢・性別・国籍による制限はありません。[1級] 認知症ライフパートナー2級合格者

- 1級は冬期のみ、札幌・東京・名古屋・大阪・福岡会場で実施。
- 公式テキスト等の関連書籍は、当協議会ホームページや、大手書店などで購入できます。

認知症 検定

検索



一般社団法人
日本認知症コミュニケーション協議会 検定事務局

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-25-3 2F

TEL.03-5388-4134

FAX.03-3370-8061 <https://www.jadecc.jp>



認知症ライフパートナー検定試験

3つのメリット

認知症ライフパートナー検定試験の導入による
取得メリットをご提案いたします。



1 現場で役立つコミュニケーション手法が身につく

介護やリハビリの資格を持ち、現場で活躍されている専門職の方でも、認知症の患者さんとの接し方に苦勞される話をよく耳にします。この検定の学習を通じて、うまくコミュニケーションをとる手法を学ぶことができます。

当協議会へ寄せられた声

同じような認知症の検定がいくつかあるが、作業療法士の先生の監修した事例が多く載っているのが、頭に入ってきやすかった。

40代 男性 作業療法士



2 介護やリハビリの専門職に適した知識を学習できる

検定試験の公式テキストの執筆者には、介護やリハビリ分野の先生方に多く入っていただいています。専門職として、今まさに学ぶべき認知症の知識にフォーカスして学習することができます。さらに、検定試験を受けることで学んだ知識の確認ができ、資格も取得できます。

認知症の人と接する時に、どうしたらよいか分からず戸惑うことがあったが、テキストの内容を参考にして、自信をもって対応できるようになった。

20代 女性 理学療法士



3 実践的なアクティビティを学び、活かすことができる

認知症ライフパートナー検定の一番の特徴は、「アクティビティ・ケア」を学べるところにあります。公式テキストには、料理、園芸、音楽、手工芸など、さまざまな種類のアクティビティの実践例が掲載されています。実際に施設等でどう実施したらよいか、そのヒントを学び、活かすことができます。

公式テキストの内容を参考にして、実際に自分の施設でも、音楽と園芸のアクティビティ・プログラムを実施してみました。利用者さんにとっても好評でした。

30代 女性 介護福祉士



「認知症ライフパートナー検定試験」についてご興味のある方には、更に詳しい資料をご送付いたします。
同封の資料請求書をご郵送・FAXいただくか、当協議会ホームページよりお申込みください。
お電話でも受け付けております。お気軽にお問合せください。